

一般社団法人日本心エコー図学会  
第20回認定専門技師試験実施要項  
【試験免除有資格者は「(一部試験免除)試験実施要項」を参照すること】

1. 試験日程 一次審査 書類審査  
二次審査 2026年11月1日(日)(予定)  
三次審査 2027年1月17日(日)(予定)
2. 試験会場 二次審査 大阪(予定)  
三次審査 大阪(詳細は二次審査後発表)
3. 受験資格
  - 1) 認定専門技師としての必要な実務経験
    - ① 8年以上の心エコー図検査実務経験を有すること  
※休業期間(産休・育休・介護休業等)は除く
    - ② 専門的心エコー図検査経験(※)を50例以上有すること  
※専門的心エコー図検査経験とは、「経食道心エコー図検査」、「負荷心エコー図検査」、「冠動脈血流検査」、「コントラスト心エコー図検査」の何れかに携わる経験であり、経食道心エコー図検査は3例以上必要とする
  - 2) 資格と業績
    - ① 一般社団法人日本心エコー図学会の会員であり、休会期間を除く会員歴(年会費を完納した年数)が5年以上であること
    - ② 日本超音波医学会認定超音波検査士(循環器または血管領域)であること
    - ③ 一般社団法人日本心エコー図学会学術集会において、査読を通じて採択された一般演題の筆頭演者としての発表が過去に1回以上あること  
※一般社団法人日本心エコー図学会の前身である任意団体の日本心エコー図学会での資格と業績を含むものである
  - 3) 一般社団法人日本心エコー図学会の代議員もしくは認定専門技師の推薦書が得られること
  - 4) 2026年度年会費を完納していること
4. 試験方法 試験は一般社団法人日本心エコー図学会認定専門技師制度委員会が行う  
一次審査 書類審査  
二次審査 筆記試験(動画問題を含む)  
三次審査 面接試験・実技試験(被験者は健常者)  
※それぞれの審査に合格した者のみ、次の審査を受けることができる
5. 申請受付期間 2026年5月1日(金)～5月31日(日)
6. 申請方法
  - 1) 学会ホームページ「会員専用ページ」から受験の申請を行う  
Top[会員専用ページ]>会員ログイン>認定専門技師試験 受験申請  
入力する項目
    - ・学会名簿の登録内容:変更があれば修正すること
    - ・申請者:職名
    - ・推薦者:区分、氏名、役職名、所属機関名
    - ・日本心エコー図学会での発表:学術集会名、発表形式、発表年月日、発表演題名
    - ・日本超音波医学会認定超音波検査士資格:領域、RMS、登録番号、有効期間
    - ・自施設での検査情報:使用している機器(メーカー名)、アプローチ位置等

※試験申請者が自施設で心エコー図検査時に使用している機器であり、複数ある時にはすべてを記載する。実技試験時の使用機器は必ずしも記載したメーカー機器になるには限らない

2) 会員ページから受験申請をした後、申請書類をダウンロード

7. 審査料 20,000 円 納付期限までに、必ず申請者本人の名義にて下記口座に振り込むこと  
納付期限 5 月 31 日(日)  
振込先 三菱 UFJ 銀行 新大阪支店(しんおおさかしてん)  
普通預金 0192415 一般社団法人日本心エコー図学会認定専門技師  
※納付された審査料は理由の如何を問わず一切返金しない

## 8. 申請書類

※試験免除有資格者は「(一部試験免除)試験実施要項」を参照すること

※「9.申請書類の注意事項」および「13.その他の注意事項」は必ず確認すること

### (1) 認定専門技師試験申請書【様式 1】

\*「申請者氏名」は自筆であること

### (2) 申請者推薦状(代議員もしくは認定専門技師の推薦)【様式 2】

\*「最終学歴及び職歴」欄には○年○月まで正確に記入すること

### (3) 経胸壁心エコー図検査の症例一覧表(50 例)

1) 申請者が自ら検査を行い、経胸壁心エコー図検査レポート(報告書)に記載した症例一覧表(50 例)【様式 3】

\* 症例一覧表には次の①～⑩までの 10 疾患・病態を最低 2 例ずつ含むこと

① 僧帽弁疾患 ② 大動脈弁疾患 ③ 虚血性心疾患 ④ 先天性心疾患 ⑤ 人工弁

⑥ 心膜炎・心膜液貯留 ⑦ 心筋症 ⑧ 心房細動 ⑨ 心不全 ⑩ 肺高血圧症 ⑪ その他

注 1) 症例が該当する疾患・病態に○印を付記すること(○印を付記した疾患・病態に基づいて、次項 2) のレポート(報告書)提出が指定され、審査される)

注 2) 1 つの症例が複数の疾患・病態を有する際には、臨床的に重要である疾患・病態のみを選択し、1 つの症例に付記する○印は少なくすること

例) 病態に無関係な軽度の僧帽弁逆流の存在は僧帽弁疾患には含まれず、○印を付記しない

2) 10 例の経胸壁心エコー図検査レポート(報告書)の写し(コピー)とその画像

\* 提出された経胸壁心エコー図検査の症例一覧表から、後日、認定専門技師制度委員会  
が 10 症例を指定するので、指定された 10 症例の経胸壁心エコー図検査レポート  
(報告書)の写し(コピー)と画像を提出すること

※提出方法等については、6 月末日までにメールで通知する

※レポート提出期間は、通知後、約 2 週間程度である

注 1) 経胸壁心エコー図検査レポート(報告書)には、申請者本人が検査を行い、その記載に関与したことを証明する記名(署名でなくてよい)が残っていること

注 2) 提出する心エコー図画像は、症例の診断に有用と思われる 5 から 10 の画像 (JPEG や AVI・MP4 画像など一般的な PC で再生できるファイル形式) とし、静止画像と動画、静止画像のみ、動画のみ、のいずれの場合も可とする

3) 経胸壁心エコー図検査並びにレポート(報告書)に関する証明【様式 3-2】

\* 申請者本人が検査を実施し、経胸壁心エコー図検査レポート(報告書)を記載したことを、検査室の管理責任者が証明する書類(【様式 3-2】)を添付すること

(4) 専門的心エコー図検査実績証明書【様式 4】

\* 申請者が専門的心エコー図検査に当該期間従事していたことを、検査室の管理責任者が証明すること

・申請者本人による証明は不可

・検査実施機関が 2 施設以上に及ぶ場合は、施設毎に実績証明を提出すること

(5) 専門的心エコー図検査実績一覧表(50 例)【様式 5】

\* 実績一覧表には①症例番号、②年齢、③性別、④検査年月日、⑤検査実施医、

⑥検査種類(検査法コード)、⑦疾患名と検査目的、を記載すること

・申請者のみで行った検査では⑤は斜線を引くこと

・No.1-10 は次項(6)に該当する専門的心エコー図検査の 10 例を記入すること

(6) 10 例の専門的心エコー図検査(必ず経食道心エコー図検査 3 例を含む)の実施記録、

または実記録に代わる書類(※)【様式 6-1】または【様式 6-2】

注) 受験申請者および検査実施医の氏名にマーカーで印を入れること

※実施記録とは、申請者が専門的心エコー図検査に携わったことを記録したものをいう

①または②のいずれか一方を提出すればよい【様式 6-1】を用いて提出

(専門的心エコー図検査では、申請者が医師の補助として検査に携わる場合があるため、実施記録は申請者が実際に検査に参加し、関与したことを証明する書類とする)

①申請者の氏名が記載された専門的心エコー図検査レポート(報告書)の写し(コピー)

注 1) レポート(報告書)は、実際に診療で使用されている診療補助記録であり、この試験のために新たに作成されたレポート(報告書)ではないこと

注 2) ①②いずれも検査を実施した医師(または施設の診療情報管理者)による真正性の証明(【様式 6-1】)を添付すること

②専門的心エコー図検査の実施が確認でき、かつ申請者の氏名が記載されたカルテ(診療録)部分の写し(コピー)

注 1) 検査中のバイタルサインの記録等、が該当する

注 2) ①②いずれも検査を実施した医師(または施設の診療情報管理者)による真正性の証明(【様式 6-1】)を添付すること

※実施記録に代わる書類【様式 6-2】を用いて提出

①②のいずれも提出できない場合は、次の書類の提出により実施記録に代わる書類として認める

③申請者の氏名が記載されていない専門的心エコー図検査レポート(報告書)の写し(コピー)

注) 検査を実施した医師(または施設の診療情報管理者)により、検査に申請者が参加していたことの証明(【様式 6-2】)を添付すること(検査 1 件ごとに証明書類 1 枚を添付する)

(7) 受験票貼付用の顔写真データ：1点

\* ファイル形式: JPEG や AVI・MP4 画像など一般的な PC で再生できるファイル形式  
(参考: 960×1280 ピクセル程度)

\* 条件: 肩(胸)から上の顔写真。正面・脱帽で本人が確認できるもの

(8) 日本超音波医学会認定超音波検査士(循環器または血管領域)認定証の写し(コピー)

\* 現在有効な認定証

(9) 提出物チェックシート【様式 7】

\* 申請書類を提出する際に必ず「提出物チェックシート」に確認結果を記入して提出すること

\* 「提出物チェックシート」の提出がない場合は、書類不備のため申請を受理しない

\* すべてにチェックがない場合は、不備とみなされる

## 9. 申請書類の注意事項

- 1) 提出する各レポート(報告書)の上部余白には症例一覧表および実績一覧表に記載している症例番号を記入すること
- 2) 提出する各レポート(報告書)は、実際に診療で使用されている診療補助記録であり、この試験のために新たに作成されたレポート(報告書)ではないこと
- 3) 個人情報に完全にマスキングすること(レポート内の画像にある個人情報もマスキング対象とする)
- 4) 個人情報が印刷されている書類を提出する場合、文字が透けない白無地の紙またはシールを個人情報の記載箇所に貼付し、それをコピーしたものを提出すること
- 5) 個人情報を黒色マジック等で直接塗りつぶしただけの書類を提出した受験者は、その個人情報の判読可否にかかわらず失格とする
- 6) 不十分なマスキング(透けて見える・マスキングを動かすことが出来るなど)により、個人情報が読み取れる場合は審査不要とし、不合格とする
- 7) 個人情報の対象は、以下の項目とする
  - ・患者氏名およびイニシャル、ID(個人番号)、患者住所、生年月日
  - ・他の情報と照合することで患者が特定される可能性がある他の情報(診療科・外来・病棟・依頼科は含まない)
  - ・施設名および所在地(所属施設、紹介元全ての施設含む)
  - ・患者が特定される生検・剖検・画像情報等の番号
  - ・受診日・入院日・手術日など特定の日付がわかるもの(レポートの検査日、年齢、性別は記載が必要)
  - ・画像上のすべての日時(検査日時含む)、施設名

## 10. 提出方法 対象の申請書類を申請期間内にアップロードにて提出

\* 学会ホームページ>認定専門技師制度>提出方法>「アップロードはこちら」よりアップロードを行う

- 1) 提出書類は全て PDF 形式に変換のうえ、1つのフォルダにまとめ、フォルダ名は「申請者名(ローマ字表記)+提出日」とする(例:gakkai20260501)
- 2) まとめたフォルダは必ず ZIP ファイルに変換し、1つのフォルダとしてアップローダーを用いて提出する

注) 申請書類の提出は1回限りとし、アップロード後の差し替え・修正は受け付けない

申請書類提出後に書類の不備について事務局から連絡があった場合にのみ、一度に限り再提出を認める。その場合、事務局から書類の不備に関する修正点の指示は行わないので、受験者の責任において募集要項を再確認し、修正・再提出すること

11. 審査結果 一次審査 2026年10月1日までに書面にて通知する  
二次審査 2026年12月15日までに書面にて通知する  
三次審査 2027年3月15日までに書面にて通知する  
※三次審査に合格した者は、期日までに認定料を指定された口座に振り込み、所定の認定  
 手続をとること

12. 認定料 10,000円  
納付方法は合格後に通知する

13. その他の注意事項

- 1)【重要】申請書類の記入漏れ、データの不備等があった場合については、事務局より申請者に連絡し、一回に限り、書類の再提出を認める。ただし、原則として申請書類の記入漏れ、データの不備等のないように十分に確認すること
- 2)【重要】最終的に申請書類に記入漏れ、データの不備があった場合は申請書類を受理しない
- 3)事務連絡はメールで行うので、メールアドレスの変更は速やかに事務局へ届けること
  - ・届け出の際は、認定専門技師試験申請者である旨を追記すること
  - ・共有アドレスの場合はその旨をメールアドレス欄に追記すること
- 4)受験票は、一次審査終了後、審査結果と共に送付する
  - ・10月1日までに届かない時は事務局まで問い合わせること
- 5)判定基準、試験範囲・レベルについては一般社団法人日本心エコー図学会ホームページを参考にすること
- 6)レポートや画像の個人情報の取り扱いには十分に配慮すること
- 7)【重要】提出された書類は、いかなる場合も返却しない
- 8)【重要】試験申請者は提出書類の控え一式を5年間保存し、一般社団法人日本心エコー図学会から提出の指示があった場合は速やかに提出すること